

21 世紀の生命を育む

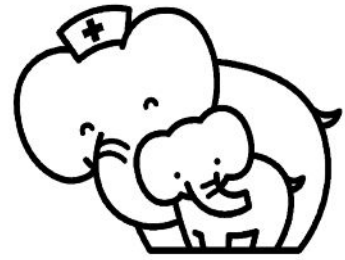
# はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



## 水いぼ小咄

岩本じいさん:橋本じいさんや、おめさん、小児科のお医者さんらろ？あのさ、相談があるがーて。おらんちの子どもが、水イボんがーて、あれてば、うつるんかね？

橋本じいさん:うつるこって。ウイルスらすけんねえ。弱いウイルスらすけん、免疫反応がなかなか起こらんすけんねえ、治るのに半年とか1年かかるがーて。

岩本:そいがか。数が増えるらしいけど、放っというていいがーかね？

橋本:いつくら増えても、体にや、全く害ねえし、跡形もなく治るすけんねえ、ほっとけばいい。大人で水いぼのある人なんて、いねろ？

岩本:そいでも、保育所じゃ、プールでうつるんだ、医者行ってピンセットで摘んでとって来んきゃ、プールに入れてもらえねえがーて。

橋本:プールの水でうつるなんてことねえて、そんげん証拠どこにもねえがーて。

岩本:そいでも、夏になると増えるみてだすけ、プールでうつるんじゃねえかね？

橋本:夏は子どもてば、はだかんぼで遊ぶ。保育所なんかじゃ、抱き着いたり、じゃれあったりして、皮膚と皮膚が擦れ合うろ、そんな時に水イボがぶつゆとつぶれて、うつるがーて。そいと、夏は薄着になるろ、だから目立つだけんがーて。冬らって、水イボのある子はいっぱいいるがーて。

岩本:んじゃ、なんで保育所の先生たちは、水イボ取らねえと、プールだめなんて言うが？

橋本:オラ、よう分からんろも、プールで水イボがうつったなんて文句言う親がいるがこって。文句言われると困るすけんに、しょうがねえ、そう言っているがーろ。

岩本:橋本じいさん、おめさんのこと信用しねわけじゃねえけど、ほんとなが？

橋本:昔、文部省ってお役所があつてのう、今は文部科学省になったがけどもね、学校じゃのう、ビート板なんかを一緒に使わんきゃのう、水イボあつてもプール入つてもいいことになっているがーて。こないだも、朝日新聞とかいう、日本じゃ一番有名な新聞に、そう書いてあつてば。

岩本:そいでも、保育所の先生は、集団生活がどうのとか言うて、プールに入れてくれねえがーよ。

橋本:集団生活で水イボが拡がるのを防ぐんなら、水イボのある子は全員登園禁止にでもしんきゃ、無理らね？

岩本:そんげんこと言うたら、子どもが保育所行けねえねつかね？

橋本:だ一すけんさ、あんげんもんあつても全く害がねえがーて、放っておけばいいがーて。

岩本:え、そいが？ピンセットとかいうもんで、摘まんで取らんきゃダメらてがーろ？

橋本:おめさん、ピンセットでイボ摘むなんて言うろもね、あれ、すげえ痛えがーよ。ひじの内側とか、わきのしたとか、お尻とか、皮膚の柔らかいとこにできるすけんねえ、イボ摘むなんて簡単に言うけど、摘まれる方はたまつたもんじゃねえ。皮膚を引きちぎるがーよ、皮膚がびよーんと伸びるがーよ、痛てえよ。10個も20個のあつてみな、全部摘めば拷問みてえになつちまう。

岩本:そいでも、1回摘まんじまえば、終わりんがーろ？

橋本:馬鹿言つてんでねえて、ウイルスがからだのどこかに残っていれば、また出てくることもあるがーて。そいとね、こんげん暑い夏に、ピンセットなんかで摘んで皮膚傷つけてみた、そこからばい菌でも入つたら大変らろ？

岩本:そう言えば、オラが子どもの頃は、水イボあるすけんにプールに入らんねえなんてこともねかつたし、そいでも水イボのある子どもばつかなんてことねかつたねえ。ピンセットなんてもんで摘まれる子もいねかつたねえ。悠久山プールとか行けば、水イボのある子もいっぱい泳いでいるがーろね。

橋本:だすけんさあ、あんげんもん、自然に治るしさ、自然に治つて免疫できちまえば、もう2度とかからんしね。プールの水でうつるんじゃねえすけん。何もしねで、放っというていいがーて。

岩本:そうらの、水イボのある子、全部とつつかまえて、ピンセットでみんなむしり取るわけになんかいかねえしの。

橋本:そうそう、ちゃんとした理由もねえのに、プールだめだの、ピンセットで取つてこいだののう、子どもがかわいそうらろ。

岩本:そうらの、な一んの罪もねえ子に、いらん痛い思いさせるの、かわいそうらの。もうちと、大人が子どものことちゃんと考えてやらんと、子どもがかわいそうらの。